

ニュースレター第 44 号をお届けいたします。今号は樋野先生とスタッフの戸田が担当します。

ユーモア (You more) ～ 小さなことに 大きな愛を込める ～

樋野興夫 (順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長)



2026年8月7日は、『浅井三姉妹記念 がん哲学外来』(福井県済生会病院に於いて)に赴いた。3組の個人面談の時も与えられた。『浅井三姉妹記念 福井がん哲学外来』は、NHK大河ドラマ(2011年)に由来し開設された。今回は、『恐竜がん哲学外来』(添付)となった。スタッフの皆様の【『訪れる人を 温かく迎い入れる = ユーモア (You more)』】の姿勢には、ただただ感服する。

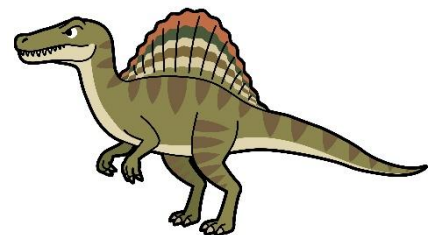
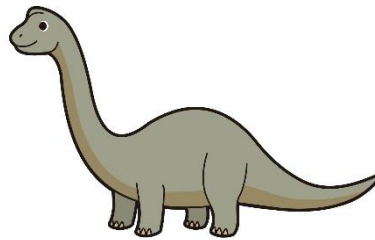
8月8日帰京し『文京シビックセンター』での【キャンサー フォーラム】(2026 Japan Cancer Forum わたしらしく生きる ～ がんとの共存を支える、確かな情報と選択肢～)に寄り、『がん哲学外来ミニメディカル・カフェ(運営:がん哲学外来市民学会)』に出席した。その後、第151回【お茶の水メディカル・カフェ in お茶の水クリスチャン・センター (OCC)】に赴いた。3組の個人面接も行った。韓国のソウルから来日されている病理医も参加されていた。

この度、編集担当の『食いしん坊のコツメカワウソ(戸田祐子)』様から『OCCニュースレター第44号』の原稿を依頼された。2011年3月11日 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)が発生し、『お茶の水 がん哲学外来・メディカルカフェ in OCC』は、当時 OCC 副理事長であった榊原寛(1941-2020)先生が、2011年に創設準備がなされ、2012年に【お茶の水メディカル・カフェ】を始められた。そして、筆者は、『順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授』時代の2012年5月26日に第1回『お茶の水メディカル・カフェ』に出席した。

(次ページへ続く)

(前ページよりの続き)

2026年7月28日 『熊本で震度7の地震発生』があり、2024年1月1日には、震度7の『能登半島地震』が起こった。1933年3月3日三陸で地震の大災害があった。新渡戸稲造(1862-1933)は被災地 宮古市等沿岸部を視察したとのことである。その惨状を目の当たりにした新渡戸稲造は『Union is Power』(協調・協力こそが力なり)と当時の青年に語ったと言われている。『時代の波は 寄せては返す』を痛感する日々である。【『涙とともに パンを食べた者でなければ人生の味は分からない』(ゲーテ:1749-1832)、ゲーテを こよなく敬愛したスイスの作家 ヨハンナ・シュピリ(1827-1901)の『アルプスの少女ハイジ』の現代的意義は『喜んで 無邪気に 小さなことに大きな愛を込める』】をさがりながら語った。『お茶の水(OCC)メディカル・カフェ』の存在意義、継続の大切さを実感する。



「知識」＋「行動」＝「気づき」



月に一度開催される「お茶の水がん哲学外来・メディカル・カフェ in OCC」では、いくつかのグループに分かれて対話を楽しみます。グループの中には、初めましての方もいれば、常連の方もいます。さまざまな年代、さまざまな立場の人が集まっています。でも、「話したい」「聴きたい」という気持ちは同じである仲間です。

始まりこそ緊張感がありますが、対話が始まると、なんとなく感覚が変わってきます。肩の力が抜けるような感覚だったり、感情を揺さぶられるような感覚だったり、身の引き締まるような感覚だったり。同じような感覚を持つ人もいれば、真逆の感覚や、まったく異なる感覚になる人もいるでしょう。つまり、そこにいる人たちから発せられるリアルな言葉によって、自分の中になかったことを知ったり、理解したり、疑問を持ったりすることで、アタマとカラダが反応しているのだと思います。

「知識」＋「行動」＝「気づき」

「知識」をインプットして、「行動」でアウトプットする。
知識だけの「暗記」は忘れてしまうけれど、行動を伴って
得た「気づき」は忘れない。



このことを知り、「まさに、がん哲学外来の対話とは、こういうことなのでは？」と思いました。いろいろな想いがあって必死に調べる（知識）。けれど、それだけではどうにもならない。そこで思い切って靴を履き、外に出て対話をする（行動）。すると、話を聴いてくれる人や、一緒に困ってくれる人がいる（気づき）ことを知る。

得た気づきは忘れません。そして、その気づきが新たな知識となってインプットされ、再び行動としてアウトプットされる。対話によって、このような連鎖が起きているのだと感じます。対話には、癒されたり、励まされたり、慰められたり、力になったり、強くなれたりするなど、たくさんの素晴らしい力があります。だからこそ、ぜひ実際に参加して、その力を体感してみたいと思います。スタッフ一同、いつでもご参加をお待ちしております。



お茶の水がん哲学外来・メディカル・カフェ in OCC スタッフ 戸田 裕子